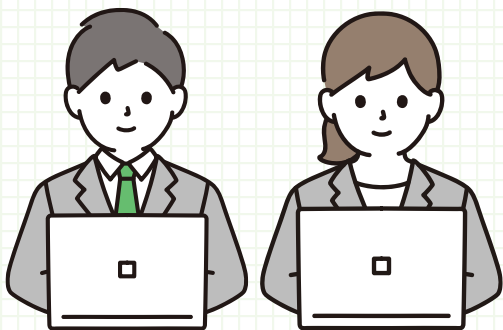




Excel 基礎講座

第8章

Excel関数の基礎



※実際の講座ではアニメーションを利用しております

8-1 SUM関数

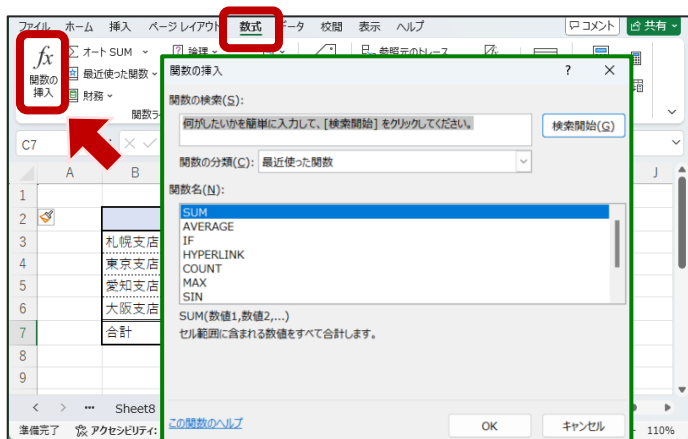
		1月	2月	3月
札幌支店		130	110	145
東京支店		100	109	130
愛知支店		122	98	124
大阪支店		117	104	128
合計		469		

Excelには、約450種類の関数が用意されています。

関数を利用すると、複雑な計算式を覚えなくても、計算に必要な値を指定するだけで、簡単に計算結果を求めることができます。



8-1 SUM関数



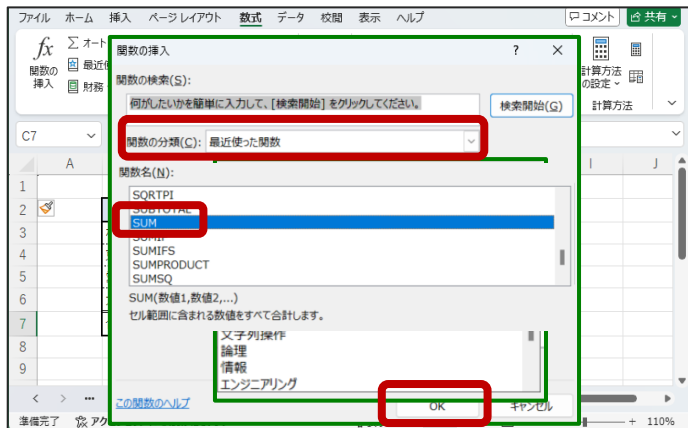
■ SUM関数

指定範囲内の合計値を求める関数を「SUM関数」といいます。

関数を設定するには、[数式] タブ [関数ライブラリ] の [関数の挿入] をクリックし、「関数の挿入」ダイアログボックスを表示します。



8-1 SUM関数

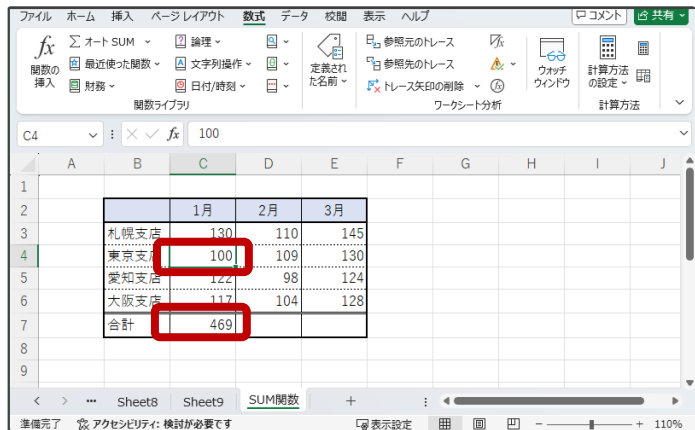


〔関数の挿入〕ダイアログボックスから関数の種類を選択します。

〔関数の分類〕〔数学／三角〕にある〔SUM関数〕を選択して〔OK〕ボタンをクリックします。



8-1 SUM関数



〔関数の引数〕 ダイアログボックスが表示されます。

〔数値 1〕 〔数値 2〕 に、合計を求めたい数値またはセル参照を指定します。

SUM関数を設定しておくと、数値を修正しても自動反映されます。



8-2 VLOOKUP関数

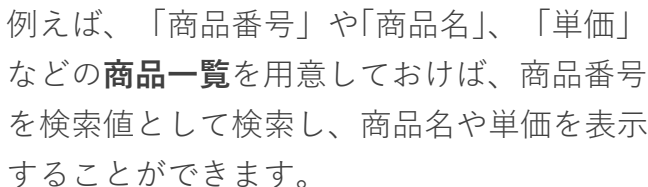
請求書					商品一覧		
商品番号	商品名	単価	数量	合計	商品番号	商品名	単価
E001-01	ボールペン	120			E001-01	ボールペン	120
E001-02	消しゴム	50			E001-02	消しゴム	50
E001-03	ノート	150			E001-03	ノート	150
E001-04	バインダー	350			E001-04	バインダー	350
E001-05	付箋	200			E001-05	付箋	200
		小計					
		消費税					

■ VLOOKUP関数

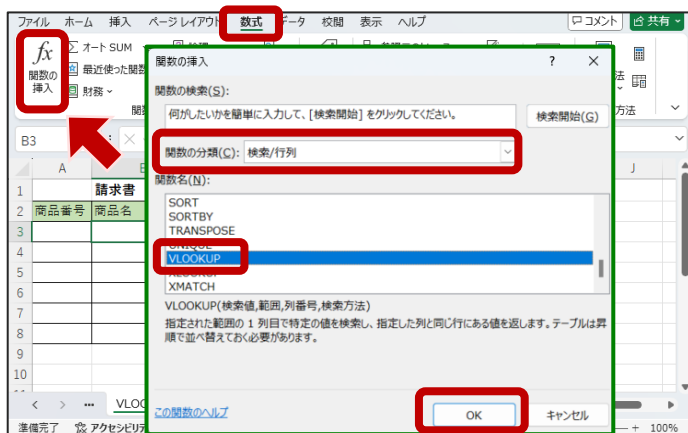
指定されたデータを検索する関数は、「**VLOOKUP関数**」です。

「**VLOOKUP関数**」は指定した範囲の中から検索条件に一致したデータを検索し、任意のセルのデータを表示することができます。





8-2 VLOOKUP関数



- [関数の挿入] ダイアログボックスを表示し、
[関数の分類] [検索/行列] にある
[VLOOKUP関数] を選択して[OK]ボタンを
クリックします。
[関数の引数] ダイアログボックスが開きます。



8-2 VLOOKUP関数

関数の引数

VLOOKUP

検索値: A3 = "E001-01"

範囲: G3:I8 = {"E001-01","ボールペン",120;"E001-02",...}

列番号: 2 = 2

検索方法: FALSE = FALSE

指定された範囲の 1 列目で特定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく必要があります。

検索値 には範囲の先頭列で検索する値を指定します。検索値には、値、セル参照、または文字列を指定します。

数式の結果 = ボールペン

この関数のヘルプ(H)

OK キャンセル

「関数の引数」 ダイアログボックスでは、**「検索値」**やセルの参照した検索対象の**「範囲」**を指定します。

商品番号を入力すると、「商品一覧」から検索結果に一致する「商品名」が表示されるように設定します。



8-2 VLOOKUP関数

SUM : ✕ ✓ fx =VLOOKUP(A3,G2:I7,2,FALSE)

請求書					商品一覧		
商品番号	商品名	単価	数量	合計	商品番号	商品名	単価
E001-01	=VLOOKUP(A3,G2:I7,2,FALSE)				E001-01	ボールペン	120
	(VLOOKUP(検索値, 範囲, 列番号, [検索方法]))				E001-02	消しゴム	50
					E001-03	ノート	150

関数の引数

VLOOKUP

検索値: A3 = "E001-01"

範囲: G3:I8 = {"E001-01","ボールペン",120;"E001-02",...}

列番号: 2 = 2

検索方法: FALSE = FALSE

= "ボールペン"

指定された範囲の 1 列目で特定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく必要があります。

検索値 には範囲の先頭列で検索する値を指定します。検索値には、値、セル参照、または文字列を指定します。

数式の結果 = ボールペン

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

範囲

検索対象の範囲を指定します。

セルG3からI7の範囲の表をドラッグして選択します。

範囲の左端の列を検索値に検索します。



8-2 VLOOKUP関数

SUM : =VLOOKUP(A3,G2:I7,2,FALSE)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1		請求書					商 1	電 2	3
2	商品番号	商品名	単価	数量	合計		商品番号	商品名	単価
3	E001-01	=VLOOKUP(A3,G2:I7,2,FALSE)					E001-01	ボールペン	120
4		(VLOOKUP(検索値, 範囲, 列番号, [検索方法]))					E001-02	消しゴム	50
5							E001-03	ノート	150

関数の引数

VLOOKUP

検索値: A3 = "E001-01"

範囲: G3:I8 = {"E001-01","ボールペン",120;"E001-02",...}

列番号: 2 = 2

検索方法: FALSE = FALSE

指定された範囲の 1 列目で特定の値を検索し、指定した列と同じ行にある値を返します。テーブルは昇順で並べ替えておく必要があります。

検索値 には範囲の先頭列で検索する値を指定します。検索値には、値、セル参照、または文字列を指定します。

数式の結果 = ボールペン

[この関数のヘルプ\(H\)](#) OK キャンセル

検索方法

検索方法をTURE（近似値）か
FALSE(完全一致) かで指定します。
 今回は、完全一致で「**FALSE**」と入力
 します。



8-2 VLOOKUP関数

B3 × ✓ fx =VLOOKUP(A3,G2:I7,2,FALSE)

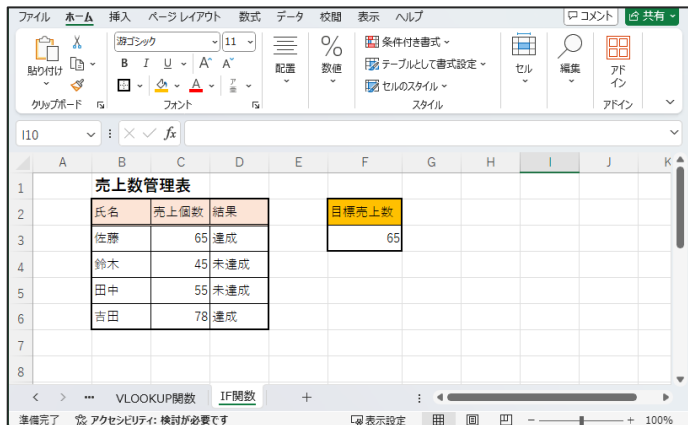
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1		請求書					商品一覧		
2	商品番号	商品名	単価	数量	合計		商品番号	商品名	単価
3	E001-01	ボールペン					E001-01	ボールペン	120
4							E001-02	消しゴム	50
5							E001-03	ノート	150
6							E001-04	バインダー	350
7							E001-05	付箋	200
8									
9									
10				小計					

SUM関数 VLOOKUP関数 Sheet13 表示設定 110%

A3セルに「E001-01」と入力すると、
「商品一覧」から検索結果に一致する「ボールペン」が表示されました。



8-3 IF関数



■ IF関数

条件を設定し、条件を満たすかどうかで表示する値を変える「**IF関数**」があります。

「**IF関数**」は、指定された条件の判定結果により、表示する内容を切り替える関数です。



8-3 IF関数

The screenshot shows an Excel spreadsheet titled '売上数管理表' (Sales Management Table). The table has three columns: '氏名' (Name), '売上個数' (Sales Count), and '結果' (Result). The data rows are as follows:

氏名	売上個数	結果
佐藤	65	達成
鈴木	45	未達成
田中	55	未達成
吉田	78	達成

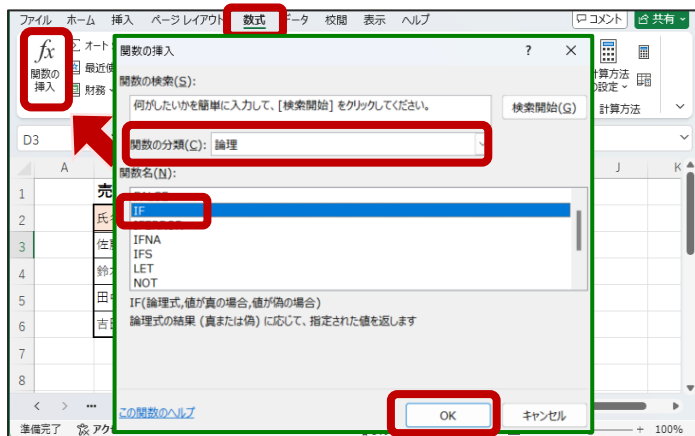
A red box highlights the '結果' column, and a yellow box highlights the '目標売上数' (Target Sales Count) cell, which contains the value 65. The Excel ribbon shows the 'IF関数' (IF function) selected in the '数式' (Formulas) tab.

例えば、売上個数が

"「65」以上の場合には「**達成**」"と表示させ、
 "「65」未満の場合には「**未達成**」と表示させる、といったことができます。



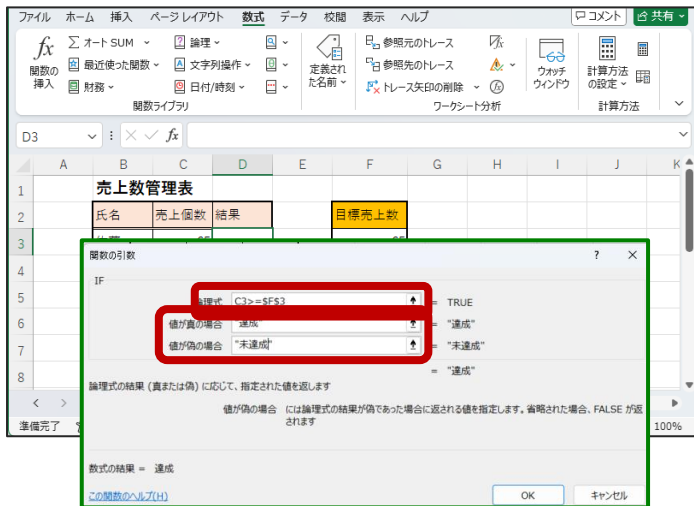
8-3 IF関数



[関数の挿入] ダイアログボックスを表示し、
[関数の分類] [論理] にある [IF関数] を
選択して [OK] ボタンをクリックします。



8-3 IF関数



「関数の引数」 ダイアログボックスでは、
「論理式」 に判定したい条件を設定します。
「真の場合」 **「偽の場合」** には、その結果が
 真の場合、偽の場合に表示する内容を設定し
 ます。



8-3 IF関数

関数の引数

IF

論理式 $C3 \geq F\$3$ = TRUE

値が真の場合 "達成" = "達成"

値が偽の場合 "未達成" = "未達成"

論理式の結果 (真または偽) に応じて、指定された値を返します

準備完了 アクセシビリティ: 検討が必要です

「**論理式**」には条件を指定します。条件を満たすと「**TRUE**」、満たさないと「**FALSE**」になります。

この場合、C3セルの値がF3セルの値以上だと「**TRUE**」、未満だと「**FALSE**」になります。



8-4 COUNTIF関数

The screenshot shows an Excel spreadsheet with a table titled "売上数管理表" (Sales Management Table). The table has columns for Name (氏名), Number of sales (売上個数), and Result (結果). A separate cell (F2) shows the target sales number (目標売上数) as 65. Another cell (F5) is labeled "達成者数" (Number of achievers). The formula bar shows the formula for cell F5: `=COUNTIF(D2:D8, "<=65")`.

氏名	売上個数	結果
佐藤	65	達成
鈴木	45	未達成
田中	55	未達成
吉田	78	達成
斎藤	64	未達成
高橋	72	達成

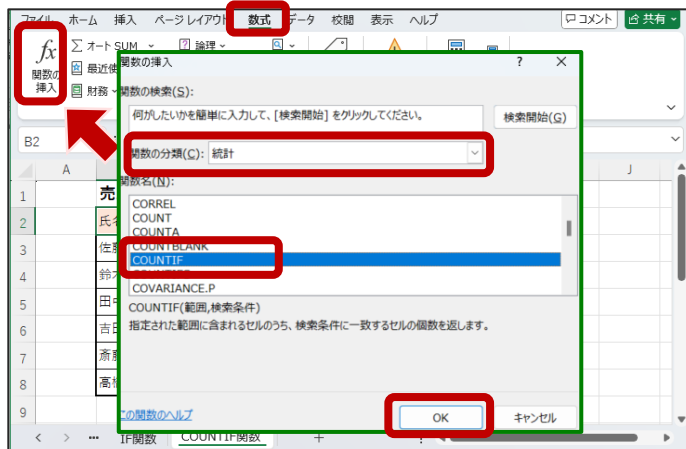
■ COUNTIF関数

指定範囲の中に検索条件を満たすセルがいくつあるかを求める「**COUNTIF関数**」があります。

検索条件として、文字や、数値を利用することができます。



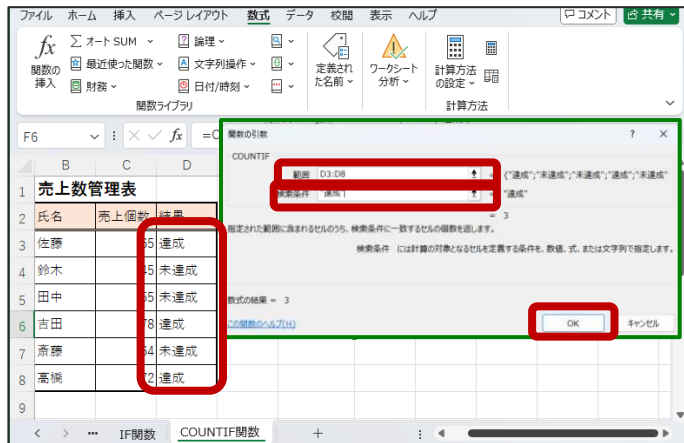
8-4 COUNTIF関数



「関数の挿入」ダイアログボックスを表示し、
「関数の分類」[統計]にある「COUNTIF関数」
を選択して「OK」ボタンをクリックします。



8-4 COUNTIF関数



「関数の引数」ダイアログボックスでは、まず、「範囲」を設定します。そして「検索条件」に「範囲」のなかからセルを検索するための条件を指定します。



8-4 COUNTIF関数

ファイル ホーム 挿入 ページレイアウト 数式 データ 校閲 表示 ヘルプ

関数の挿入 最近使った関数 財務 関数タイプリ

論理 文字列操作 日付/時刻 定義された名前 ワークシート分析 計算方法の設定 計算方法

C3 =COUNTIF(C3:C8,">=65")

	B	C	D
1	売上数管理表		
2	氏名	売上個数	結果
3	佐藤	65	達成
4	鈴木	45	未達成
5	田中	55	未達成
6	吉田	78	達成
7	斎藤	64	未達成
8	高橋	72	達成
9			

関数の引数

COUNTIF

範囲 C3:C8 {65;45;55;78;64;72}

検索条件 ">=65" ">=65"

= 3

指定された範囲に含まれるセルのうち、検索条件に一致するセルの個数を返します。

検索条件 には計算の対象となるセルを定義する条件を、数値、式、また

数式的結果 = 3

[この関数のヘルプ\(H\)](#)

OK

IF関数 COUNTIF関数

検索条件に数値を設定する場合は、
「>=(以上)」 「<=(以下)」などの記号のう
しろに数字を入力します。

「65」以上のセル数を求める場合は、
[検索条件] に「">=65"」と設定します。



8-5 MAX関数・MIN関数

The screenshot shows the Excel interface with the 'Formulas' (数式) ribbon selected. The 'Function Library' (関数ライブラリ) group contains the 'MAX' and 'MIN' buttons, which are highlighted with a red rectangle. Below the ribbon, a table titled '売上数管理表' (Sales Management Table) is visible. The table has columns for Name (氏名), Sales Count (売上個数), and Result (結果). The data rows show sales counts ranging from 64 to 78. To the right of the table, there are summary cells: '目標売上数' (Target Sales Count) with a value of 65, '達成者数' (Number of Achievers) with a value of 3, and a table for '最大売上個数' (Maximum Sales Count) and '最小売上個数' (Minimum Sales Count), which are also highlighted with a red rectangle.

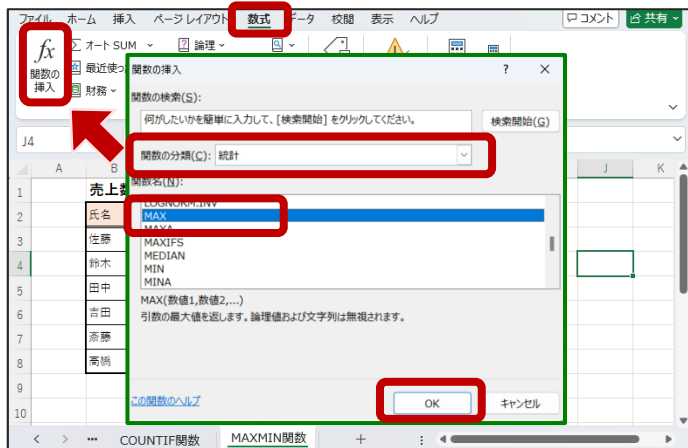
氏名	売上個数	結果
佐藤	65	達成
鈴木	45	未達成
田中	55	未達成
吉田	78	達成
斎藤	64	未達成
高橋	72	達成

■ MAX関数・MIN関数

指定範囲の中で最大値を求める「**MAX関数**」
と最小値を求める「**MIN関数**」があります。
「**MAX関数**」「**MIN関数**」は、文字列、理論
値、空白のセルは無視されます。



8-5 MAX関数・MIN関数



指定範囲から最大値を求める場合は、

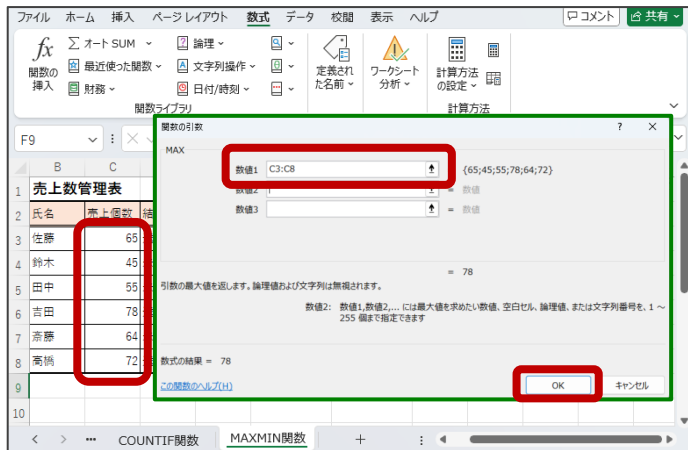
「関数の挿入」ダイアログボックスを表示し、

「関数の分類」 「統計」にある「MAX関数」

を選択して「OK」ボタンをクリックします。



8-5 MAX関数・MIN関数



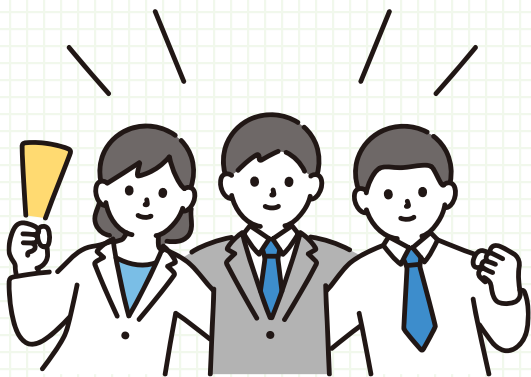
「**関数の引数**」ダイアログボックスで「**数値 1**」に範囲を指定します。

「**MIN関数**」も同様に「**関数の引数**」ダイアログボックスで、「**数値 1**」に範囲を指定します。



Excel 基礎講座

第8章 Excel関数の基礎



ウィンドウを閉じてください